

フランスの古い歌とクラヴサン音楽 クリスマスとともに

甘く静かな、そして華やかな響きのクラヴサン音楽。独特なニュアンスの中に愛の喜びと悲しみ、心の揺らぎなどが表現されるフランス宮廷歌曲エール・ド・クール。そしてフランスで歌い継がれるイエス降誕を祝う聖歌ノエル。優しく語るような音楽を、静かな息づかいまで聞こえるホール「あゆ〜む」で繊細な響きと言葉を味わいながら聴いていただきたいと思います。

プログラム

美しい瞳 (J.ブランソン, 1559頃-1612頃)
組曲へ長調 (L.クーブラン, 1626頃-1661)
第1集(1706) 組曲イ短調 (J.P.ラモー, 1683-1764)
穏やかな日々を (S.ル.カミュ, 1610-1677)
愛の神の矢をうけると (J.ドゥ・ラ・パール, 1533-1578)
「ノエル集」より 若い乙女は
ヨゼフはよき妻をめとり 他



鈴木美紀子 (Soprano)

宮城学院女子大学学芸部音楽科卒業後、ベルギー王立リエージュ音楽院に留学。最優秀の成績で修了し、ブルミエ・プリを受賞。在学中からヨーロッパ、アメリカのさまざまな音楽祭・録音に参加。現在はルネサンス・バロック歌曲のスペシャリストとして意欲的な演奏活動を行っている。2006、2010年つのだたか氏の伴奏でフランスバロック歌曲のリサイタルを行い、好評を得た。《Bless B Quintet》《アンサンブル・エクレジア》のコンサート、CD録音に参加。声楽を鈴木優子、遠藤恭子、G.ド・レーグル、G.ド・メイ、バロック歌唱法を故大橋敏成、フランスバロック歌唱法をジル・フェルドマンの各氏に師事。

梅津樹子 (Clavecin)

上野学園大学音楽部及び同専攻科でチェンバロを学ぶ。修了後パリ国立地方音楽院 (C.N.R de Paris) に留学し榮譽賞付きディプロマを得て卒業。チェンバロを山田貢、渡邊順生、ノエル・スピーツ、アンサンブルを故大橋敏成、広野嗣雄、Kenneth Weisse、Helene Defourの各氏に師事。在学中より演奏活動を始め、ヨーロッパ滞在中はフランス、ドイツなどで多数の演奏会を行い、帰国後はソリストとして、また通奏低音奏者として精力的な活動を行い、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団などと共演している。山形チェンバーミュージシャンズ (Y・C・M) メンバー。宮城学院女子大学音楽科非常勤講師。



2010年12月4日 (土)

Open 13:30 Start 14:00

全席自由 前売2500円 当日3000円

白鷹町文化交流センターAYu:M あゆ〜む

山形県西置賜郡白鷹町鮎貝仮換地24街区1番

チケット予約: TEL. 090-7937-0120 (五十嵐)

TEL. 0238-85-9071 (AYu:M あゆ〜む)